



は い く

俳句をよんでみよう！



しな の まいにちしんぶん 信濃毎日新聞は、しんしゅんはいく 2026年新春俳句コンクール の さくひん ぼしゅう 作品を募集しています。えら はいく 選ばれた俳句は、

らいねん しょうがつ しんぶん しょうかい 来年のお正月の新聞で紹介します。しょうがくせい ぶ はいじん にしむらきりん えら なに 小学生の部は、俳人の西村麒麟さんが選びます。「何を

よんでもいいし、はずかしくないよ。たの つく 楽しく作ってね」と、みなさんのおうえん 応募を待っています。

俳句って？

5・7・5の17音で文を作ります。きせつ あらわ ことば き ご 季節を表す言葉(季語)を1つ入れるのがルールです。

ゆうめい こばやし いっさ はいく いま き かお なら はる 有名な小林一茶さんの俳句です。今来たと顔を並べるつばめかな 〈春〉

きりん はいく たいやき や いそが ぶゆ 麒麟さんの俳句です。鯛焼をかたかた焼いて忙しき 〈冬〉

ぜんかいさいいゆうしゅう にしはるちかきたしょう はいく 前回最優秀の西春近北小3年(当時)長谷部もかさんの俳句です。

どんぐりがきからおちるよあいたたた あき 〈秋〉

何をよむの？

次の①か②、または①と②で、あ 合わせてひとり3句以内。く い ない

① しゅんかしゅうとう けしき こころ のこ はつけん じゅう 春夏秋冬の景色、心に残ったできごと、発見を自由によんでみましょう。

② あき き ご つか く 「蜻蛉(とんぼ)」(秋の季語)を使った句。身近な生き物、蜻蛉(とんぼ)とじっくり向き合ってみましょう。

送り方

かみ じゅう 紙は自由。しめ切りは ねん がつ 2025年10月16日(木)。

がっこうめい がくねん じぶん なまえ 学校名、学年、自分の名前(よみがなも)、自分の住所、連絡できる電話番号も忘れずに

か えら ひと しょうじょう きねんひん おく 書いてください。選ばれた人には賞状と、クオカードや記念品を贈ります。

ほかのコンクールに おうえん さくひん おく 応募した作品は送らないでくださいね。作品はお返ししません。

送り先

〒380-8546 な が の しみなみあがたち 長野市南 県 町 657 しな の まいにちしんぶん ぶん か ぶ しんしゅんはいく かかり 信濃毎日新聞文化部「新春俳句コンクール」係

メール kodomo-haiku@shinmai.co.jp でも送れます。お問い合わせは ☎026・236・3110